

日本470協会 理事会 議事録

2010年6月3日 18:30~21:00

岸記念体育会館 505会議室

出席者： 倭千鶴子、信時裕、戸張房子、秋元和子、五味克博、武田朋美、加藤理子、
小島正義、川田貴章、京黒太郎、浅原慈樹、大森慶子

(順不同 敬称略)

1. 平成21年度会計報告 担当：秋元 添付【会計報告】

新艇登録料として30万円近い収入があったのだが、請求書を出すのが遅れたため次年度にまわる。

JSAFの保険に加入予定。(担当：戸張)

JSAFとのweb契約については、ISAFから新HPに直接リンクするようになったので、契約を解除する。

会費収入が徐々に落ちて来ている。今後の推移を注意したい。

また昨年度は全日本大会でメダルレースを行ったので470協会から水域への補助金が増加、さらに全日本で理事会の出席者が増えたので交通費・宿泊費が増加した。水域補助金を理事会交通費・宿泊費に充ててもらうなど、今後どうするかについて検討が必要。

会費が減って来ているが、なんとかやりくりしている。すでに予算が組まれているので水域補助金を急に廃止されると厳しい。

平成22年度から、会計担当が秋元から武田に変更。

2. MYナンバーの進捗報告 担当：浅原 添付【MYナンバー（個人セール番号）の進捗について】

目的は協会として艇の情報を把握したいということと、協会の安定・継続的な収入の確保をはかっていきたいということ。

学連艇は全日本学連を通して今年11月回答〆切りで調査を実施。

一般、医学部、同好会で水域予選に出場する選手は会員登録時にWeb上の回答フォームで回答してもらっている。

その他の医学部、同好会の艇も各組織を通じて通知は可能。

問題はそれ以外の活動していない艇。

計測証明書とのデータ照合することも考えられるが、計測証明書をデータ化して検索できるようにしないと難しいのと、そもそも照合・突合せが大変。

来年度から実行するため、半年前からHPで公示するのが良いのでは。

周知の方法はHP以外では全日本のパンフレットに載せる、各水域予選で公示、各水域470理事および理事以外の各水域担当者から県連に通知するのが良いのでは。公示の原案は浅原理事に依頼、承諾。

3. **本年度全日本 470 のレース形式について 担当：信時**

添付【2010 年全日本 470 級ヨット選手権大会収支比較】

関西では今年もメダルレースを実施したいということで、メダルレースを実施した場合と実施しない場合での収支を比較してもらった。メダルレースを行えば日程も 1 日延びるし予算も変わる。

収支予想▲67 万円を少しでも改善するため、参加賞 22 万円の削減を川上さんと相談中。

参加艇数を増やして収入を増やす事を考えてはどうか。

予算ではプロテスト 4 名となっているが、メダルレースを行うならば 6 名必要。あと 2 名は地元で調達されるのかどうか。

メダルレースを実施するという事でエントリー料を 30,000 円にしてはどうか。

そもそもエントリー料 29,000 円というのは、スポーツエントリーの WEB 申込手数料の関係で 30,000 円未満にしないではいけないという理由で決めた金額だったので、申し込み方法によっては増額も可能。

収支予想▲67 万円を▲30 万円以下に下げよう川上さんをお願いし、メダルレース実施の方向で検討していただくことに。

4. **470 クラス規則変更公示について 担当：川田**

添付【470 クラス規則変更について】

※用語の訂正 文中の『ライフジャケット』を『個人用浮力体』を書き換える

協会としての基本方針を示して（協会としては標準のクラス規則をそのまま用いることを原則とすることを伝えて）それでもルールを変更したいという申請があった場合には、理由を聞いて許可するという手続きを確立したい。

a) は学連でパドル使用の必要性を指導していることもあり、変更の要請があれば、基本的に許可することに。

b) c) d) e) は資料の内容で承認。

規則変更手続きの仕方を（HP などで）周知。HP での申請窓口は川田理事とする。

各水域の問い合わせは水域理事が受けて、水域理事から川田理事に依頼する。負荷が大きい場合は分担の仕方など運用方法を検討する。

これは選手がクラスルールを把握する良いチャンスとなるので、協会側（川田理事）が「クラス規則変更への同意書」を作成し、大会公式掲示板に掲示することとする。

5. **日本 470 協会規約 改定案について 担当：戸張**

添付【規約改正案について】

現在の規約は 40 年前に作られたもので、現状に即していない部分がある。

協会運営をスムーズに行える様に制度を整理し、細則を設けて規約を明記する事が必要。さらに、規約や議事録は HP にオープンにした方が良い。改定案を提示するので、持ち帰って検討して頂き、メールのやり取りなどでご意見を伺いたい。

8 月までには最終決着したい。

6. その他

※計測委員会の体制変更 担当：信時

計測委員長は恒川理事が多忙なこともあり浅原理事に変更。

チーフメジャーは浅原理事が経験を積みノウハウを蓄積するまでの一定期間、小島理事が担当するように依頼し、承諾された。

オフィシャルメジャーを明確にしておいた方がいいという意見が出され、データベース化・HP上での公開が提言された。

※フリートレース支援について 担当：京黒

水域理事の出席が少ないので、後日メールにて連絡する。

添付【フリートレース支援報告2について】

※添付のPDFファイルの中の資料ではなく「フリートレース支援報告2」参照。

※スタープランについて 担当：信時

海外遠征支援は2チームが応募・承認されたが、資金の関係で十分な支援ができていないとはいえない。トップ層を支援することを起点にしてミドル層以下にFBしてもらうことで全体の底上げを狙っていたが、現状では効果は限定的になる可能性が高いので、プランの修正が必要。早々に修正案を提案したい。

以上で理事会を閉会した。